

平和記念公園

原爆ドームから南に延びる広島平和記念公園は、主に 2 つの川の間にある細長い土地に位置し、それは街の真ん中にある緑の島のように感じます。120,000 平方メートル以上に広がるこの静謐な場所では、世界初の核攻撃で失われた多くの命を追悼すると共に、周りの自然により生命の尊さを再確認することができます。

元安川の東岸沿いにある原爆ドームのすぐ南には橋があり、そこから公園の大部分が位置する一角に訪問客を誘います。1945 年の原爆以前は、この区域は広島市の行政と商業の中心でした。1949 年、復興中のこの都市は、この区域を単に再建するのではなく、追悼と黙想の場となるべきだと決定しました。

公園には創設されてから数十年にわたり、数多くのモニュメントが建設されてきました。それらには、著名な建築家 丹下健三（1913-2005 年）が設計した広大な平和記念館から、動員された学生、死傷した韓国人、数人の著名な人物に捧げられた控えめな大きさの彫像まで、さまざまな規模のものがあります。

これらの記念碑は、お互いに徒歩圏内にあり、それぞれが独自のいたましさを備えています。多くの訪問客にとって最も印象的なのは、原爆の犠牲者の慰霊碑です。この 1952 年に建てられたコンクリート建築もまた、丹下健三のデザインで、古代の粘土の置物（埴輪）に触発され、故人の魂に避難所を提供することを意図しています。